

県図なう。

令和3年3月15日 発行
第120号 (毎月15日発行)
<http://www.library.pref.kagoshima.jp>
Tel : 099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

鹿児島県立図書館

ホットニュース

当館が推薦する、こどもの本83冊です！

令和3年「こどもの本 児童図書モデルリスト」を作成しました。

当館では、毎年2万冊余りの資料を受け入れています。児童文化室では令和2年1月から12月までの1年間に3,500冊余りの図書を受け入れました。その中から、特におすすめの図書を毎年「児童図書モデルリスト」としてまとめています。

幼児から中学生までの子供の年代に応じた観点を設け、職員が作品を読んで検討を重ね、各年代ごとに15~20冊の図書資料を選定しました。さらに、保護者や指導者向けのモデル図書も3冊選定しました。

このリストには、全ての図書の書名、作者名、本体価格、出版社、書影(本の表紙画像)、当館職員の書評を掲載していますので、家庭、学校図書館、公共図書館での選書に御活用いただけます。

(参考:昨年度の冊子)



〔児童文化室内 研究室〕

3月23日(火)から、児童文化室のミニ展示コーナーと研究室に展示します。冊子も同日より児童文化室と当館ホームページ上で御覧いただけます。児童文化室では書名の一覧表も配布用として準備しておりますので、どうぞ御活用ください。

図書館で探そう、調べよう!

調査相談(レファレンス)事例から

「市」と「郡」の違いは何？



『市』と『郡』の違いは何か。『郡』とはどういう位置付けのものか、定義を知りたい。」

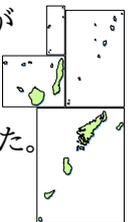
こんな御質問がありました。質問の意図はこうです。例えば住所表記をする際、「鹿児島市」の場合、「鹿児島県鹿児島市」と書きます。「三島村」の場合、「鹿児島県鹿児島郡三島村」と書きます。「県」の次に「市」や「郡」がくるということは、「市」と「郡」は同格なのか。しかし「郡」としての行政実態はないので、どのような位置付けになるのか、ということでした。確かに言われてみると、同じ鹿児島郡に属する三島村や十島村に、それぞれの「村役場」はあっても「鹿児島郡役場(役所)」というものはありません。“行政実態がない”とは、こういうことを指しておっしゃっていたのです。

「定義を知りたい」という質問でしたので、複数の国語辞典を調査。そこには「郡」について、「都道府県の区・市以外の町村を包括する区画。明治11年府県の下行政区画とされ、同23年の郡制によって地方自治体として認められたが、大正12年廃止。現在は単に、地理上の区画。」とありました(『大辞泉 上巻 第二版』小学館 2012年、ほか)。

県内の市町村の変遷をまとめた郷土資料『鹿児島県市町村変遷史』(鹿児島県 1967年)にも同様のことが書かれており、「郡は全く、地理的名称となり、自治体としての機能を失い、今日に至っている。」とあります。

つまり、大正時代に郡制が廃止されてからは、単に地理上の区画(名称)でしかないのです。この答えに、質問された方も、「そういうことなのですね。長年の疑問がようやく解けました。」と、納得していらっしゃいました。

ちなみに、現在鹿児島県内にある郡は、8つです。みなさんは全て答えられますか？



新着図書案内

《一般図書》 3月12日(金)

《児童図書》 3月23日(火)

- 『焚き火の本』 猪野正哉/著 山と溪谷社
- 『発達障害・知的障害のための合理的配慮ハンドブック』 土橋圭子/編 渡辺慶一郎/編 有斐閣
- 『青天を衝け』 NHK出版
- 『ひきこもり図書館』 頭木弘樹/編 毎日新聞出版
- 『「小商い」で自由にくらす』 磯木淳寛/著 イカロス出版

- 『おおきなおおきな木みたいに』 ブリッタ・テケットラップ/作・絵 ひさかたチャイルド
- 『さくらがさくと』 とうごうなりさ/さく 福音館書店
- 『戦争にいったうま』 いしいゆみ/作 静山社
- 『希望、きこえる?』 榮谷明子/著 汐文社
- 『未来の自分に出会える古書店』 齋藤孝/著 文藝春秋

催し物の御案内

一般閲覧室ミニ展示

- 「シンプルに生きる」 3/31(水)まで
4月から新生活に向けて、「断捨離」や「シンプルライフ」に関する本を紹介しています。
- 「ようこそ鹿児島へ」 4/1(木)～4/30(金)
初めての鹿児島、あらためての鹿児島、魅力いっぱいの鹿児島を図書資料で紹介します。

児童文化室ミニ展示

- 「ちよっぴり前向きになれる本」3/21(日)まで
春は出会いと別れの季節。次の出会いに前向きになれる本を紹介します。
- 「決定！『令和3年こどもの本
児童図書モデルリスト』」
3/23(火)～4/22(木)

図書館職員のつぶやき

一般閲覧室1階に「医療・福祉支援コーナー」があります。医療・健康に関する資料は、現在、数多く出版されていますが、その中には、いわゆるバイブル本(健康食品の販売を誘引するようなものや「○○で病気が治る!」といったもの)など科学的根拠の乏しいものもあります。

当館では、利用者の皆様にごできる限り確かな、複数の情報を提供したいと考えています。特に「医療・福祉支援コーナー」に並べる本には留意しています。

例えば、医療関係の本を選ぶときは、

- ①出版年が新しいもの(最新の情報を)
- ②科学的根拠やデータに基づく記述となっているもの
- ③著者が専門医であるもの(確かな情報を)

といった観点を中心にして選んでいます。

今後も、利用者の皆様にとって、役に立つコーナーづくりにも努めてまいりますので、是非、御利用ください。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

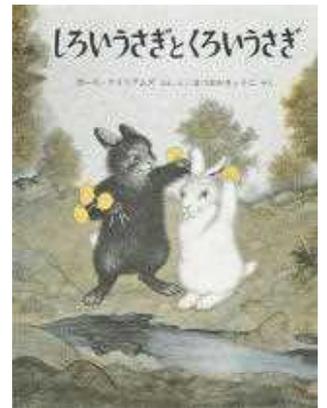
今回紹介していただいた宝本は、ガース・ウィリアムズ/文・絵、まつおかきょうこ/訳の『しろいうさぎとくろいうさぎ』(福音館書店)です。

私が幼い頃、母がよく読んでくれました。しろいうさぎとくろいうさぎがお互いをとても大切に想い合い、最後は結婚をし、ずっと幸せに暮らすお話です。

母の温かな優しい声と、この本のストーリーが重なり、とても大好きな絵本になりました。小学生になり、自分で読めるようになると、よく読むでは心が穏やかになりました。いつか大人になり、結婚して子どもが生まれたら、私も母のように、この本を読んであげたいという強い思いがありました。

結婚をするとき、この本を母から譲り受け、今は娘と息子に読んでいます。

私の夢が一つ叶いました。ずっと、この本が読み継がれていくことを願っています。



図書館クイズ

えほん『からすたろう』やしまたろう/文・絵
(偕成社)からのクイズです。

「ちび」とよばれていた少年が、かくげい会でひろうした、どうぶつのなき声はなんだったかな?

- ①からす ②ねこ ③いぬ

ヒント

この本の だいいめいは?

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、4月14日(水)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「②りんごの木」でした。

たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
3月	14	15	16	17★	18	19	20◆
	21	22	23	24★	25	26	27
	28	29	30	31★	1	2	3
4月	4	5	6	7★	8	9	10
	11	12	13	14★	15	16	17◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(自抜)：9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(3月25日 9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(3月31日、4月15日)
- は、児童文化室新着図書の日(3月23日)